

2022. 9. 15.

(1)

おい図書館

No.221

発行
代表
青木 和子
松本市牧の原1-10-416
TEL 047-311-0886

ひがまつテラス 見学会



昨年12月19日(日)に開館した「ひがまつテラス」(東松戸地域図書館、青少年プラザ、市役所支所の複合施設)の見学会が、4月19日(火)、実現しました。

参加申し込みが20名だったため、2グループに分け、2回共、司書の村上さんが丁寧に案内して下さいました。

管轄の違う「青少年プラザ」見学も、私達の希望を叶えて下さるという図書館のご配慮で、併せて実現できたことに感謝致します。村上さん、青少年プラザの職員

の方々、ありがとうございました！



宮田正宏

約30年前にこの回計6年間に、松戸市立図書館に勤務していました。図書館勤務の1回目には、どうやら中央図書館建設準備委員だったようで、2年目は文化施設建設準備室兼務。中部小学校を含めた複合高層ビル内の中央図書館建設がPIAの反対で白紙になると、すぐに「森のホール」建設準備の担当(2年間)に。図書館勤務の2回目は、5年間在席。中央図書館建設のための基本構想に策定が代々「事務屋」の手で行われており(司書が策定に加わると、細かい点に集中して前

に進まない)先進図書館に照会文書を送り、視察や参考図書など寄せ集めて、長所・短所を選別し、最先端(?)の「基本構想」を作成したりしました。

当時の図書館への市民議員の要望は、蔵書充実ではなく、学習室の増設ばかりでした。毎月発行の「としよかん通信」で「学習室の存在は、図書館の発展を導く」との図書館界の説を度々書いて啓発を図りました。

この5年間は、図書館利用啓発を図るため、ワープロ作成の「としよかん通信」毎月発行や、松戸関係の文学資料収集・発表、市内在住の音楽家によるコンサート、文学散歩や美術館めぐり、おはなしキャラバン体験などを企画し実施しました。

退職して18年過ぎましたが、毎年10冊以上の図書を借り、情熱で読んでいます。インターネットで、

新着図書など10冊の予約ができてゐるのがとても便利です。

東松戸地域図書館は、最新の情報による、最新の図書館施設だと思ひます。現在、考えられる要件が大部分取り入れられてゐると思ひます。ただし、私の感想としては、広々としたスペースより、より多くの蔵書がある方が「有り難い」と思つてゐますが…。



神惇子

1000m²とはいえ、ゆつたりした感じ。様々な機能が組み込まれていて魅力的でしたが、本は少ない。収蔵能力10万冊には程遠いと感じました。

市内小中学校で使われている教科書が置かれてゐることを確認できました。ちよつと面白いと思つたのは、別の棚に「検定不合格」を明示した自由社版歴史教科書があつたこと。選書の意図を知りに

いと思ひました。

書庫に案内された時、可動式の書架ではない事を知つて驚いた。計画の段階から司書が関わつてなかつたという事だろうと思ひました。他にもそういう部分があるのかと推察しました。

2階の「青少年プラザ」が良いですね。専門職が手ぐすねひいて子ども達を待つてゐるといふ感じで、たのもしい！正職員かどうかを聞きそびれてしまひましたが…

正規職員2名

④

会計年度任用職員12名

開館時間中はらゝ8名が常駐

東松戸地域館での発見！



まっぴ子育てコネクト

富田文子

見学会にお誘ひ致さ、ありがたくございました。本好きの娘にと

つての初めての「ビバがまっテラス」は、とても楽しかつたようです。

昨年12月19日のひがまっテラスオープンから約半年。平日の東松戸地域館と2階の青少年プラザを見学して感じた事をまとめました。

①蔵書数…東松戸地域館の蔵書収容能力は、書庫を含めて10万冊。現在では5万冊。R.4年度は1万冊の追加を予定してゐる。

東松戸地域館の書庫は倉庫と兼用で狭いが、それは計画の段階で「どんな図書館にするか？」によつて書庫の大きさも変わるゝこと。やはり、今後の図書館の在り方を検討する、その時点から市民からもどんどん意見を出したいと思つた。

②利用状況…以前のこの地区の東部分館のR.2年度の利用者数は7万4500人だったが、東松戸地域館はR.3年12月19日のオープンから

R.4年3月末で9万5000人。やはり市民の望む図書館があると利用は増えることが分かる。

↓松戸の人口(約50万人)に対しての図書館の1人当たりの床面積は、全国や県の平均よりまだまだ狭へと感じる。是非1人当たりの床面積の確保に向けて数値で目標を掲げて、そこへ向けて図書館の整備をお願いしたい。

③地震対策：震度4以上の揺れがあった場合、書棚の上段のバーが稼働する。

↓図書館の地震対策は、いろいろな考え(本棚ごと倒れる方が危険なので、敢えて本を落とす、など)があることを知りました。図書館の書棚ひとつ決めるのにも、専門知識が必要ですね。

④東松戸地域館独自の受験対策本の品ぞろえ

↓松戸市内で大学受験の「赤本」が揃っている(主要大学)のは東

松戸地域館だけ。その他、学校の入試案内なども複数取り揃えられている。YA(ヤングアダルト)の中高校生コーナーが充実。2階の中高生の居場所「青少年プラザ」との連携がうかがわれる。実際に高校受験(塾なし)を通して、模試や教材購入に費用がかかると感じたので、図書館の取り組みに書籍の要望があれば購入できることなど、広報まふびとなどでお知らせして欲しいと感じました。

青少年プラザ(2階)

以前にも見学をしました。実際にこちらに通う娘を連れて行ったので感想を聞くと、「居心地が良さそう」と。意外にも、音楽ルームやダンスルーム(?)が気になったようです。シニアの方からは「音楽ルームを見学中に「シニアにもこんな場所が欲しい」という声も。日中、青少年利用者が少ない

ようならば、中高生に限らず大人向けに時間を制限して開放しても良いのでは?と思いました。日中に図書館を利用したい事情のある中高生の現状を理解する大人を増やすことも青少年プラザの重要な活動ではないかと思いました。(日中に図書館に居たり、外に居るとはいい言葉かけをする人がいますので。)

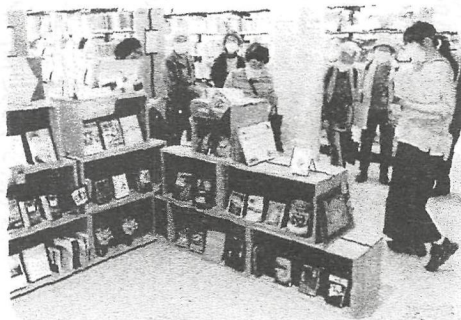
見学を通して、本好きの娘がワクワクしているのを感じました。本を読んでも読まなくても「図書館に行きたい」と思わせるような居場所になると良いと思うのと同時に、今後新しく建設される中央図書館についても、長く利用される施設になるので、出来るだけ専門家や実際に利用する市民の声を反映させた図書館を作って欲しいと思います。このため、今回の見学会のことなども含め、「まふびと子育てコネクト」のブログにま

(4)

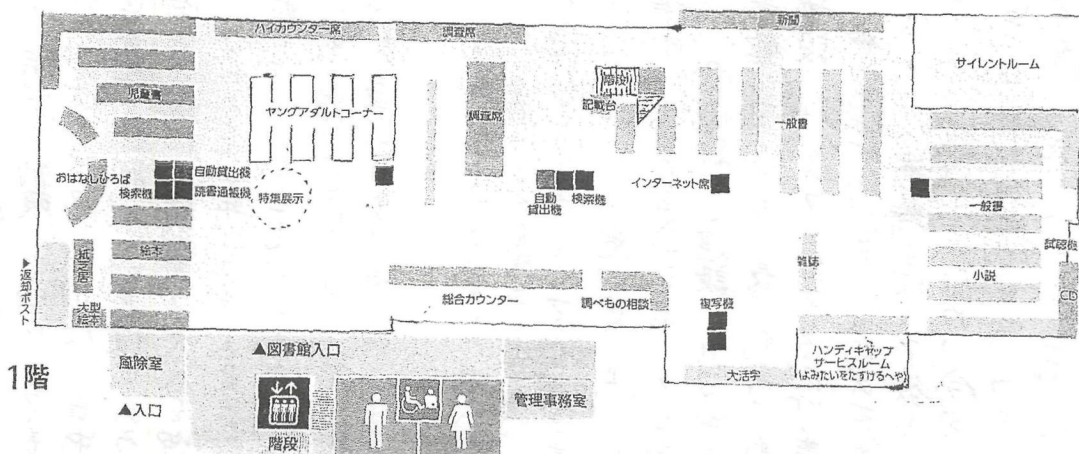
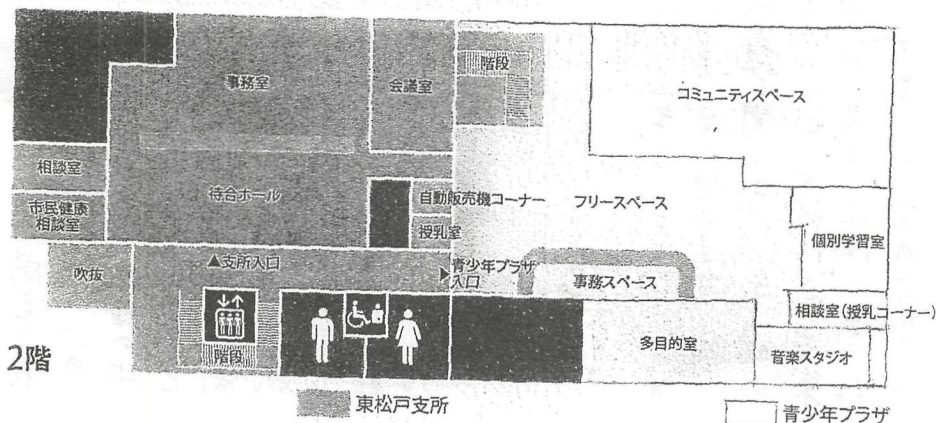
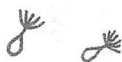


見学風景

撮影：宮田正宏さん



とめ、以前頂いた「市長への要望書」なども情報として共有したいと思っています。



寸法が少々変ですが、どうぞご容赦下さい。